IDEC
Think Automation and beyond...

2024年3月期 第3四半期
（2023年4月1日～2023年12月31日）
決算説明資料

2024年2月2日
ＩＤＥＣ株式会社
証券コード：6652

社長の舩木です。
第3四半期累計の業績について、お話ししたいと思います。

第3四半期累計のポイント

IDEC

売 上

■売上高　**543億円**　（前年同期比 △15.2%）

- EMEAは、円安の影響や制御用操作スイッチが好調に推移したことから増収
- 日本は、客先における輸出需要の低迷や在庫調整の影響などにより減少
- 米州、アジア・パシフィックは、景気減速や在庫調整の影響などにより減少

利 益

■営業利益　**47億円**　（前年同期比 △59.3%）
■経常利益　**51億円**　（前年同期比 △56.6%）
■四半期純利益　**34億円**　（前年同期比 △57.0%）

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上減少の影響や操業度の低下もあり、利益は減少

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

売上高は前年同期比15.2%減の543億円となり、営業利益は売上高の減少に伴い前年同期比59.3%減の47億円、営業利益率8.6%となりました。10月から12月までの3か月間では、流通在庫が想定以上に消化ができていないことと、需要も低迷したことにより、計画を下回りました。また、売上の減少により操業度も低下し、利益も大幅に減少いたしました。
下期から米州の回復を見込んでいましたが、想定以上に回復が遅れております。しかし米州では徐々に受注は回復しており、米州、アジア・パシフィックにおいては、第4四半期から徐々に売上、受注とも回復に向かってくると見込んでおります。

今回の業績を踏まえて、今後の対応についてご説明させていただきます。
売上の変動によって営業利益が変動することを、今後

出来るだけ抑えていきたいと考えております。売上の変動に係らず高収益な体質となるために、製品原価の大幅な低減が必要であり、これを実現するためには現在進行中の日本、グローバルの生産事業所の最適化だけでなく、ものづくりを原点から見直し、大幅なコスト低減ができる体質を構築していきたいと考えております。
また、販売管理費についても固定費が多いため、出来るだけ変動費化することで、売上が変動した場合でも販売管理費で調整することができる体制づくりを進めてまいります。

製品群についても、よりコアの技術に注力し、顧客ニーズに対応できるよう、ターゲット市場に特化した製品を作ることで、その製品群をベースにしたソリューションビジネスを展開し、高付加価値を生み出せる体制にしていきたいと考えております。

最後に配当につきまして、我々は安定した配当を株主さまに提供することを重視しており、今年度の130円配当を維持する予定としております。

第3四半期の決算概要

続いて、第3四半期の決算概要についてご説明いたします。

連結業績概要＜連結損益計算書＞－1

（単位：百万円） ※百万円未満切り捨て	2023年3月期 3Q累計		2024年3月期 3Q累計		
	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	64,107	100.0%	**54,341**	**100.0%**	**△15.2%**
売上総利益	28,756	44.9%	**23,302**	**42.9%**	**△19.0%**
販売費及び一般管理費	17,325	27.0%	**18,652**	**34.3%**	**＋ 7.7%**
営業利益	11,431	17.8%	**4,650**	**8.6%**	**△59.3%**
経常利益	11,664	18.2%	**5,062**	**9.3%**	**△56.6%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,999	12.5%	**3,437**	**6.3%**	**△57.0%**
1株当たり四半期純利益（潜在株式調整前）	275.01円	－	**117.16円**	**－**	**△157.85円**
米ドル平均レート (円)	136.52円		**143.33円**		**＋ 6.81円**
ユーロ平均レート (円)	136.05円		**155.31円**		**+19.26円**
人民元平均レート（円）	19.88円		**19.98円**		**＋ 0.10円**

※当1Qより、APEMグループは連結財務諸表の作成にあたって決算日を12月31日から3月31日に変更しております。

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

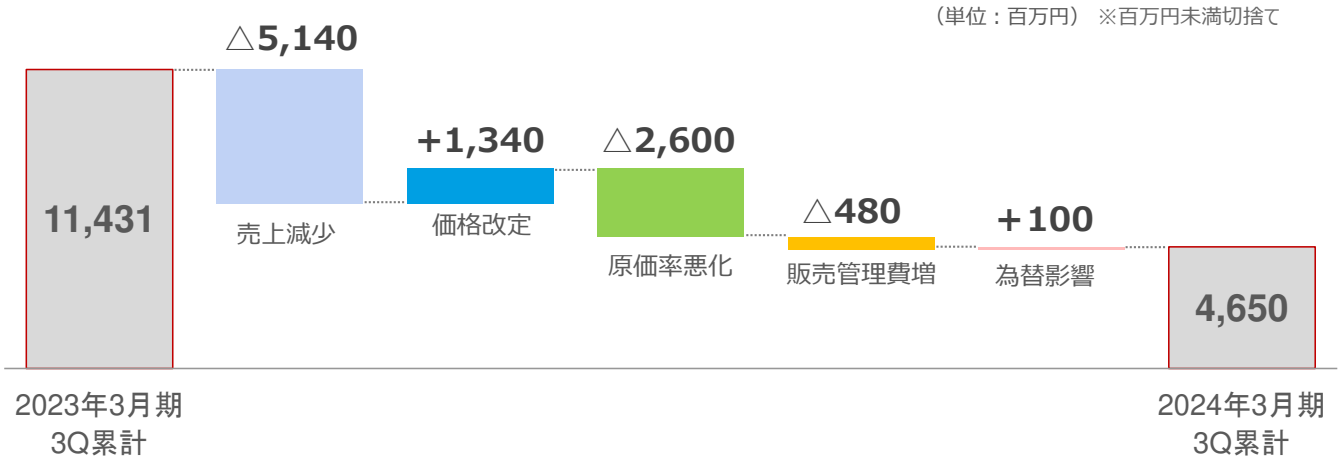
第3四半期累計の業績は、国内外における在庫の調整に加え、半導体関連や工作機械などの主要産業の需要低迷の影響などから、売上、利益ともに減収減益となりました。

販売管理費については、前期比で約13億円増加しましたが、これは為替の影響に加え、ez-Wheel社のグループ化、前期に原価として計上していたAPEMの一部費用を販管費として計上しているためです。

連結営業損益変動要因

価格改定によるプラス効果があったものの、売上減少の影響が大きく、利益率の高い国内売上の減少や、操業度低下などにより原価率も悪化したことなどから、営業利益は前年同期比で**約68億円減少**

（単位：百万円） ※百万円未満切捨て



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

営業利益については、製品価格の改定効果があったものの、売上減少の影響が約51億円と大きく、また比較的利益率の高い国内売上の減少や、操業度の低下による原価率の悪化などにより、営業利益は前年同期比で約68億円減少いたしました。

連結業績概要＜連結損益計算書＞－2

IDEC

各地域における流通在庫の調整や、主要産業の需要低迷の影響などにより、売上、利益とも大きく減少

（単位：百万円） ※百万円未満切り捨て	2023年3月期				2024年3月期						
	3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	20,927	100.0%	19,761	100.0%	18,180	100.0%	19,620	100.0%	**16,540**	**100.0%**	**△21.0%**
売上総利益	9,750	46.6%	8,620	43.6%	7,900	43.5%	8,553	43.6%	**6,848**	**41.4%**	**△29.8%**
販売費及び一般管理費	5,878	28.1%	5,990	30.3%	6,235	34.3%	6,172	31.5%	**6,244**	**37.8%**	**＋ 6.2%**
営業利益	3,871	18.5%	2,629	13.3%	1,665	9.2%	2,381	12.1%	**603**	**3.6%**	**△84.4%**
経常利益	3,523	16.8%	2,738	13.9%	2,022	11.1%	2,507	12.8%	**532**	**3.2%**	**△84.9%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,305	11.0%	2,145	10.9%	1,467	8.1%	1,706	8.7%	**263**	**1.6%**	**△88.6%**
1株当たり四半期純利益（潜在株式調整前）	79.03円	－	73.31円	－	50.16円	－	58.14円	－	**8.86円**	**－**	**△70.17円**

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

10月から12月までの3か月の業績については、EMEAを除く各地域における流通在庫の調整や、主要産業の需要低迷の影響などにより売上が減少し、営業利益率は3.6%となりました。

仕向地別売上状況

（単位：百万円） ※百万円未満切捨て （構成比）	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	前年 同期比
日本	25,894 (40.4%)	**20,253 (37.3%)**	△21.8%
海外	38,213 (59.6%)	**34,087 (62.7%)**	△10.8%
米州	12,014 (18.7%)	**10,490 (19.3%)**	△12.7%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	10,113 (15.8%)	**11,447 (21.1%)**	+ 13.2%
アジア・ パシフィック	16,085 (25.1%)	**12,149 (22.3%)**	△24.5%
合計	64,107 (100.0%)	**54,341 (100.0%)**	△15.2%

日 本　前年同期比　**△21.8%**

- 主要産業での足踏み感や、流通在庫調整局面の影響もあり、売上は減少

海 外　前年同期比　**△10.8%**

- 米州は、需要の低迷や流通在庫調整の影響から売上は減少
- EMEAでは、円安の影響に加え、主力のHMI事業が好調に推移し、売上が引き続き伸長
- アジア・パシフィックは、中国経済や東南アジア地域の景気減速の影響で売上は減少

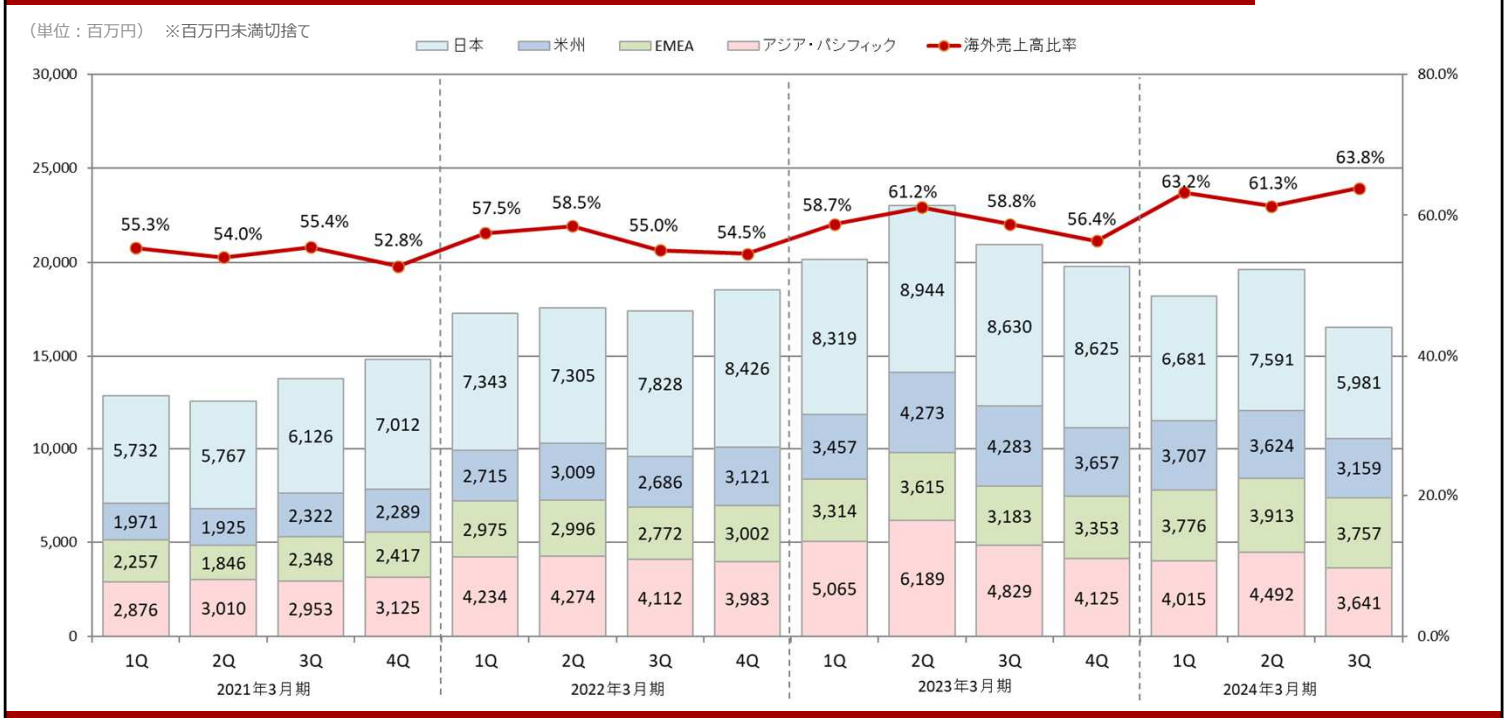
Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

仕向地別の状況については、日本は客先における輸出需要の低迷、半導体関連やロボットなど主要産業での足踏み感や、流通在庫の調整に時間がかかっている影響により、売上は減少いたしました。

海外においては、EMEAは円安の影響に加え、主力のHMI事業が好調に推移したことで伸長いたしました。

一方米州では、マテハンや工作機械業界などの需要の低迷や、流通在庫の調整により減収となり、アジア・パシフィックは、中国経済や東南アジア地域の景気減速の影響などにより、減収となりました。

仕向地別売上状況　（四半期推移）



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

第3四半期については、流通在庫の調整に時間がかかっている国内の売上減少が大きく、海外売上高比率が約64%となっております。

製品別売上状況

（単位：百万円） ※百万円未満切捨て （構成比）	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	前年 同期比
HMI事業	27,300 (42.6%)	**25,279** **(46.5%)**	△ 7.4%
ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾂ事業	12,206 (19.0%)	**8,641** **(15.9%)**	△29.2%
ｵｰﾄﾒｰｼｮﾝ＆ｾﾝｼﾝｸﾞ事業	7,577 (11.8%)	**7,648** **(14.1%)**	＋ 0.9%
安全・防爆事業	12,489 (19.5%)	**8,735** **(16.1%)**	△30.1%
システム	3,577 (5.6%)	**2,993** **(5.5%)**	△16.3%
その他	957 (1.5%)	**1,042** **(1.9%)**	＋ 8.9%
合　計	64,107 (100.0%)	**54,341** **(100.0%)**	△15.2%

※2023年３月期より、製品種類別の区分を一部変更しています。

HMI事業

プログラマブル表示器は拡大した一方、主力のスイッチは日本、米州、アジア・パシフィックでの流通在庫調整や、半導体・工作機械業界の需要低迷などにより減少

インダストリアルコンポーネンツ事業

主力の中国市場において制御用リレーなどの売上が減少

オートメーション＆センシング事業

中国市場の景気減速の影響があったものの、電子部品の納期改善により、米州向けプログラマブルコントローラが堅調に推移

安全・防爆事業

中国市場を中心とした景気減速や、半導体・工作機械業界の需要減少により、安全関連機器が減少

システム

アジア・パシフィックで、半導体製造設備・物流関連設備などの制御盤の売上が減少

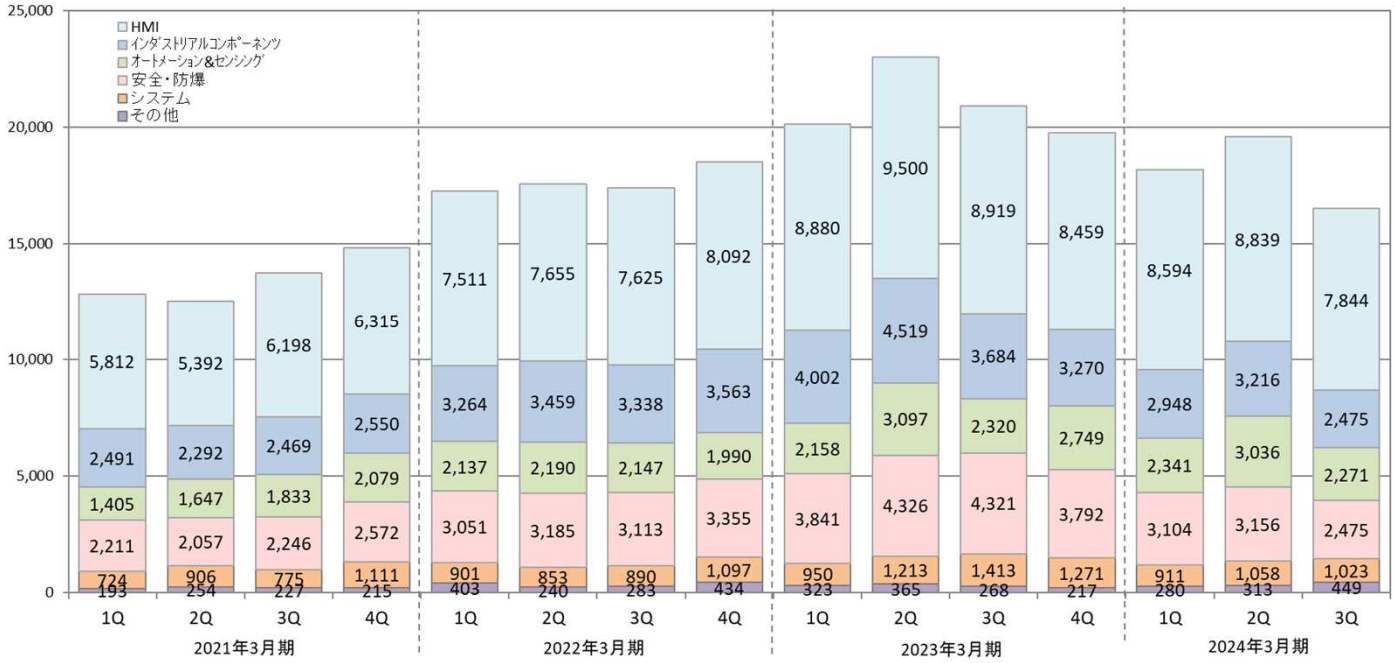
Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

製品別売上高については、主力のHMI事業は、電子部品の納期改善によりプログラマブル表示器の売上は拡大した一方、主力のスイッチは、日本、米州、アジア・パシフィックでの流通在庫調整や、半導体・工作機械業界の需要が減少した結果、減収となりました。

インダストリアルコンポーネンツや安全・防爆事業については、中国市場を中心とした景気減速の影響などを受けて減少いたしました。
オートメーション・センシング事業は、電子部品の納期改善により、米州向けプログラマブルコントローラが堅調に推移し、増収となりました。

製品別売上状況　（四半期推移）

（単位：百万円）　※百万円未満切捨て



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

受注状況

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2023年3月期　3Q累計		2024年3月期　3Q累計			
	受注高	受注残高	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
日本	28,317	17,057	**17,295**	△38.9%	**7,012**	△58.9%
米州	13,094	6,038	**8,305**	△36.6%	**2,771**	△54.1%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	11,431	8,531	**10,647**	△ 6.9%	**8,641**	＋ 1.3%
アジア・ パシフィック	9,236	4,211	**7,520**	△18.6%	**3,058**	△27.4%
合計	62,079	35,838	**43,768**	△29.5%	**21,485**	△40.1%

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

受注高については、流通在庫の影響が各地域で継続しているため、減少しております。

受注状況　（四半期）

- 流通在庫調整の影響が続いている日本、米州、アジア・パシフィックについては、依然として受注高が減少傾向
- 米州では流通在庫が減少しており、アジア・パシフィックも4Qにかけて受注高が若干増加する見込み

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2023年3期				2024年3期					
	3Q（10月～12月）		4Q（1月～3月）		1Q（4月～6月）		2Q（7月～9月）		3Q（10月～12月）	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日本	8,736	17,057	6,193	13,514	6,550	12,329	5,757	9,140	**4,986**	**7,012**
米州	3,703	6,038	2,668	4,972	2,681	3,863	3,067	3,233	**2,555**	**2,771**
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	3,457	8,531	3,683	8,975	4,164	9,947	3,237	9,340	**3,245**	**8,641**
アジア・パシフィック	2,588	4,211	2,924	4,085	2,257	3,392	2,745	3,005	**2,516**	**3,058**
合計	18,486	35,838	15,470	31,547	15,655	29,532	14,808	24,720	**13,305**	**21,485**

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

四半期別では、EMEAはほぼ横ばいの状況となっておりますが、流通在庫調整の影響が続いている日本、米州、アジア・パシフィックについては、依然として受注高が減少傾向となっております。

一方で、米州は流通在庫が減少しており、アジア・パシフィックについても、第4四半期にかけて受注高が若干増加する見込みとなっております。

連結業績概要 ＜連結貸借対照表＞

IDEC

資産のポイント

- 現金及び預金が減少した一方、棚卸資産や固定資産が増加したことなどにより、総資産は前期末比約31億円増加

負債のポイント

- 借入金が増加した一方、仕入債務や未払法人税等が減少したことなどにより、負債は前期末比約8億円減少

純資産のポイント

- 為替換算調整勘定が増加したことなどにより、純資産は前期末比約39億円増加

（単位：百万円） ※百万円未満切捨て	2023年3月期 （当会計年度）	2024年3月期 （12月末）	前会計年度末比 増減
流動資産	54,518	56,106	+1,588
固定資産	49,717	51,273	+1,556
流動負債	32,059	31,533	△ 525
固定負債	13,362	13,130	△ 232
純資産	58,813	62,716	+3,902
総資産	104,235	107,380	+3,144
自己資本比率	56.1%	58.0%	+1.9%

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

続いて資産につきましては、棚卸資産や固定資産などの増加により、総資産は前期末比で約31億円増加いたしました。

自己資本比率は前期末比で1.9%上がり、58.0%となりました。

連結業績概要 ＜連結CF計算書＞

IDEC

営業活動によるCF

- 法人税等の納付、仕入債務の減少、棚卸資産の増加などにより約22億円

投資活動によるCF

- 定期預金の払い戻しによる収入があった一方、固定資産の取得などにより約△12億円

財務活動によるCF

- 借入金の返済や配当金などの支出により約△14億円

（単位：百万円）※百万円未満切捨て	2023年3月期　3Q累計	2024年3月期　3Q累計	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,912	2,186	△1,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,628	△1,162	+1,465
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	1,283	1,023	△259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,736	△1,429	+2,307
現金及び現金同等物の期末残高	13,019	15,167	+2,147
設備投資額	3,057	2,233	△823
減価償却費	2,621	2,918	+296

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

営業活動によるキャッシュ・フローについては、法人税等の納付や、仕入債務の減少、棚卸資産の増加などにより、約22億円となりました。

サイバーアタックの影響

2023年10月31日、第三者による不正アクセスを確認し、各種対応を実施
侵害調査により情報流出がなかったことを確認（2024年1月17日リリース）

- 不正アクセス確認後、影響が及ぶ可能性のあるサーバー停止、ネットワーク遮断を実施
  ランサムウェアを実行されたことでデータが暗号化され、業務システムの利用制限、復旧対応実施
- 業務システムの停止に伴い、**特別損失として「情報セキュリティ対策費」**を第3四半期に62百万円計上。また、**営業活動、売上受注に対する影響**が発生しており（逸失売上：年間売上に対して1%程度）、今後保険による補填も想定
- 外部専門家による侵害調査結果として**情報流出はなく**、今後外部専門家と連携の上で**情報セキュリティ環境の強化対策を推進**

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

なお、当社Webサイトにて開示させていただいておりますが、2023年10月31日に、第三者による不正アクセスを確認し、各種対応を実施してまいりました。

不正アクセスを確認したのち、影響が及ぶ可能性があるサーバーの停止やネットワークの遮断を実施しましたが、業務システムの停止に伴い、特別損失として「情報セキュリティ対策費」を第3四半期に6千2百万円計上いたしました。
また、営業活動や売上受注に対する影響が発生しており、今後保険による補填も想定しております。

なお、外部専門家による侵害調査を実施した結果、情報流出はないことを確認しており、今後外部専門家と連携したうえで、情報セキュリティ環境を強化していく対応策を推進してまいります。

新製品紹介

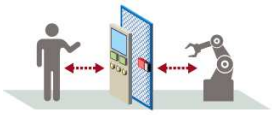
続きまして、新製品についてご紹介いたします。

IDECグループの新コンセプト「HMI-X」

IDEC

HMI-X [Transformation]

- 人と機械の関係の変化に伴い、**最適なインターフェースの在り方が変化していくこと**を、「HMI-X」と定義
- これまで培ってきた、**HMI・安全を融合した製品・サービスを社会へ提供することで「HMI-X」をリード**し、多様なステークホルダーのウェルビーイング実現に貢献



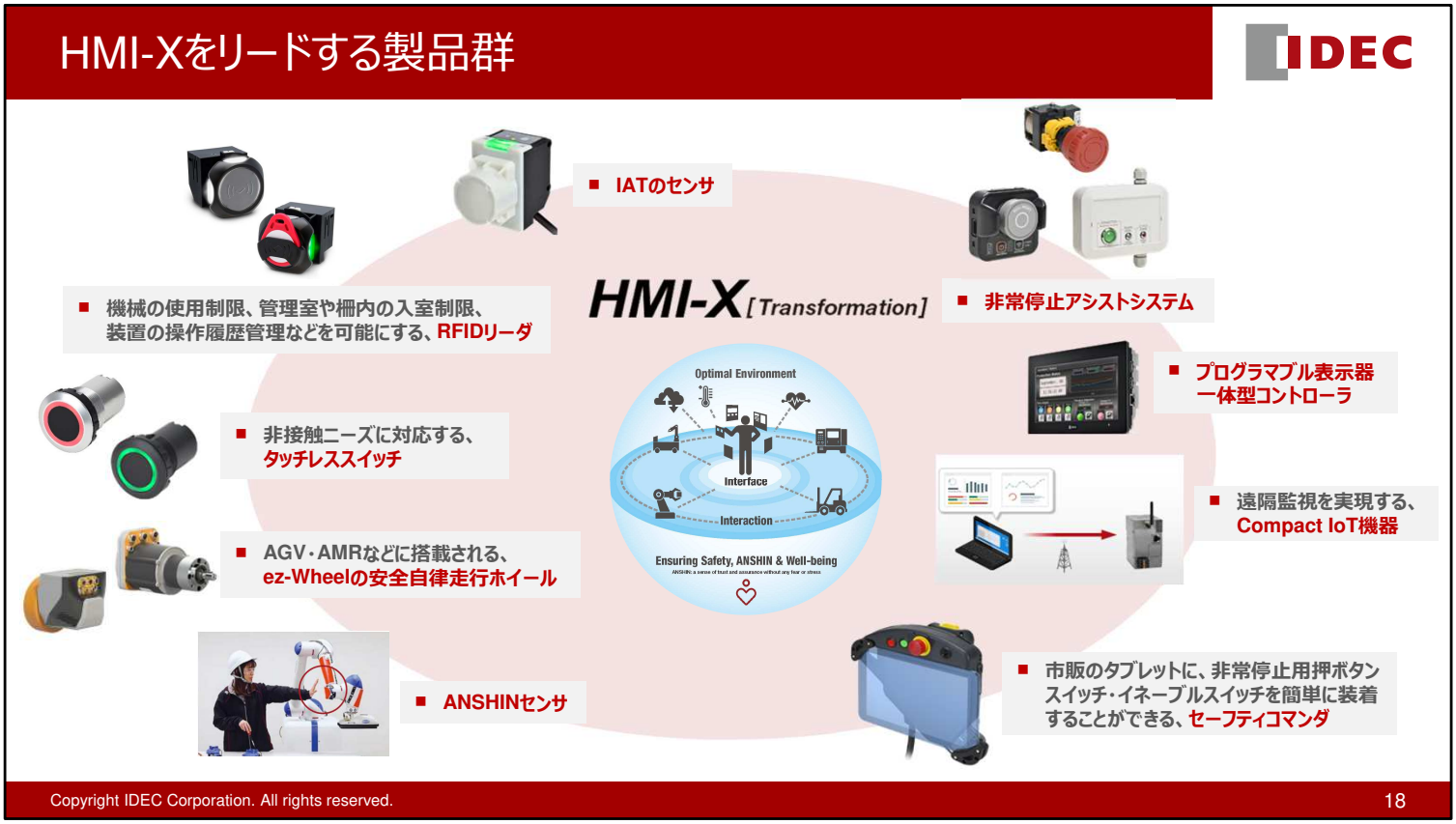
人と機械が隔離された環境での制御

人と機械が協働する環境での制御

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

進行中の中期経営計画では、新コンセプトとしてHuman-Machine Interface Transformationの略称である、「HMI-X」を掲げております。

人と機械の関係が大きく変化するのに伴い、最適なインターフェースの在り方が変化していくことを、IDECでは「HMI-X」と定義し、実現に向けた各種取り組みを行っております。



HMI-Xをリードする例が、これらの製品群です。

新しいニーズにお応えするための新製品や、多様なシーンで人の安全・安心・ウェルビーイングを実現するソリューションなどがあります。

プログラマブル表示器一体型コントローラ

- 7.0インチの表示器とプログラマブルコントローラ（PLC）を一体化することで、**大幅な省スペース化を実現**する「FT2J形」を、2023年12月にグローバルで発売開始
- 環境に配慮した製品設計にもなっており、PLCとプログラマブル表示器を使用した場合に比べて**消費電力が約40%減少**

プログラマブル表示器一体型コントローラ
「FT2J形」

プログラマブル表示器（HG2J形）とPLC（FC6A形）を組み合わせて使う場合と比べて**奥行きが約３分の１に**

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

2023年12月よりグローバルで発売を開始した、プログラマブル表示器一体型コントローラ「FT2J形」は、7.0インチの中形の表示器とPLCを一体化した製品です。

表示器とPLCを組み合わせて使う場合に比べると、奥行きが約３分の１となり、大幅な省スペース化が実現でき、また環境に配慮した製品設計としております。

非常停止アシストシステム（１）

IDEC

■ AGV・AMRなど自動搬送ロボット上の非常停止用押ボタンスイッチを、**無線で遠隔操作できるシステム**を2024年１月から新発売（４月以降、順次海外でも販売開始予定）

A、B、Cの３つの機器で構成する
「非常停止アシストシステム」

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

2024年1月に発売を開始した非常停止アシストシステムは、離れた場所から非常停止用押ボタンスイッチを無線で操作することができるシステムで、３つの機器で構成しています。

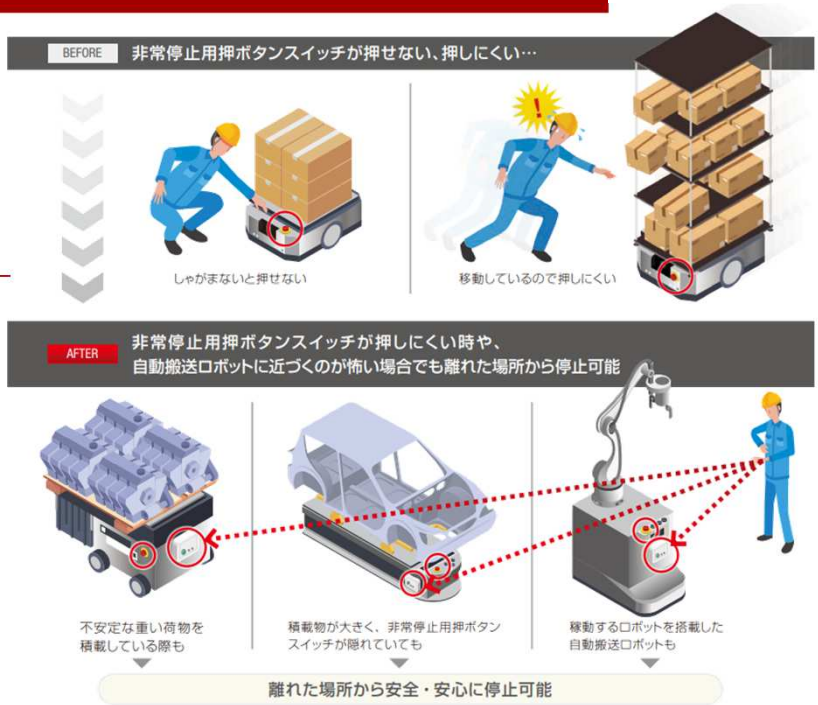
AGVやAMRなどの普及により、搬送工程の自動化が急速に進んでおりますが、搭載されている非常停止用押ボタンスイッチは走行時に押すことが難しく、また搬送物によってスイッチが押しづらい状況が発生するという課題がありました。

このシステムを使うことで、直接スイッチを押すことが難しい場合に、離れた場所から安全に装置を停止させることができます。
4月以降、順次海外でも販売を開始する予定です。

非常停止アシストシステム（２）

IDEC

■ 非常停止用押ボタンスイッチを遠隔から操作する手段を携行することで、**作業者の安心感と安全性を向上し、ウェルビーイングに貢献**



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

こちらの上段の図は現場における課題を示したものですがが、今回発売したこのシステムでは遠隔から操作することで、作業者の安心感と安全性を向上し、ウェルビーイングにも貢献いたします。

AGV・AMR向けソリューション例

■ 物流・製造業界ではAGVやAMRの導入が加速していることから、**AGV・AMR向けのソリューション展開を強化**

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

また、2023年8月に買収したフランスのez-Wheel社の安全自律走行ホイールや、IDECのHMI、安全関連機器を組み合わせることで、AGVやAMRの導入が加速している物流・製造業界に向けたソリューションの展開を強化しています。

こちらはソリューションに組み込まれる製品の一例ですが、お客さまのニーズや課題に合わせて、最適なソリューションとしてご提供しています。

参考資料

社外からの評価

- 2022年に続き、FTSEのインデックスに2年連続で選定
- 2024年に、Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除〈REIT）の構成銘柄に、5段階の中で最高位評価となる「グループ１」として選定
- S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数に加え、JPX日経中小型株指数にも選定

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

MORNINGSTAR GenDi J
Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
TOP CONSTITUENT 2024

2023 Sompo Sustainability Index

JPX-NIKKEI Mid Small

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

2024年3月期 通期業績予想

IDEC

■ 業績予想は変更なし

（単位：百万円） ※百万円未満切り捨て	2023年3月期		2024年3月期				
	実績	対売上比	期初予想	対売上比	修正予想	対売上比	前期比
売上高	83,869	100.0%	81,000	100.0%	**75,000**	**100.0%**	**△10.6%**
売上総利益	37,376	44.6%	38,500	47.5%	**33,550**	**44.7%**	**△10.2%**
販売費及び一般管理費	23,315	27.8%	24,700	30.5%	**24,900**	**33.2%**	**＋ 6.8%**
営業利益	14,060	16.8%	13,800	17.0%	**8,650**	**11.5%**	**△38.5%**
経常利益	14,403	17.2%	13,800	17.0%	**9,150**	**12.2%**	**△36.5%**
親会社株主に帰属する当期純利益	10,144	12.1%	9,500	11.7%	**6,350**	**8.5%**	**△37.4%**
1株当たり当期純利益（潜在株式調整前）	348.37円	－	326.23円	－	**216.62円**	**－**	**△131.75円**
USDレート (円)	135.51円		130円		**143.16円**		**+7.65円**
EURレート (円)	138.15円		140円		**154.23円**		**+16.08円**
人民元レート（円）	19.75円		18.50円		**19.73円**		**△0.2円**

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

2024年3月期　連結売上高予想

（単位：百万円） ※百万円未満切捨て	2023年3月期	2024年3月期		
	実績	期初予想	修正予想	前期比
HMI事業	35,760	36,200	**34,800**	**△ 2.7%**
インダストリアルコンポーネンツ事業	15,476	13,900	**12,000**	**△22.5%**
オートメーション事業＆センシング事業	10,327	10,200	**10,900**	**＋ 5.5%**
安全・防爆事業	16,282	15,700	**12,500**	**△23.2%**
システム	4,848	4,000	**3,600**	**△25.7%**
その他	1,174	1,000	**1,200**	**＋ 2.2%**
合　計	83,869	81,000	**75,000**	**△10.6%**
国内売上高	34,519	33,300	**28,100**	**△18.6%**
海外売上高	49,349	47,700	**46,900**	**△ 5.0%**
（海外比率）	（58.8%）	（58.9%）	**（62.5%）**	

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

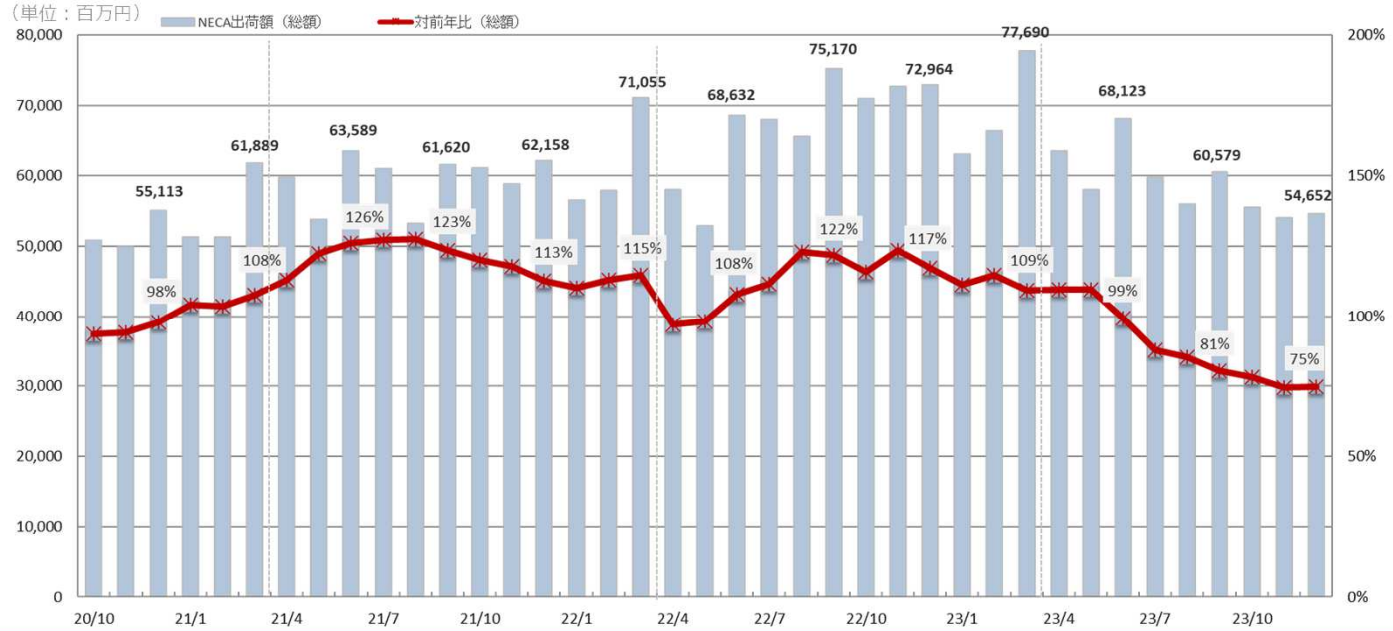
2024年3月期　為替レートと為替感応度

通貨	為替前提	1円変動による影響額 ※人民元は0.1円変動の影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	143.16円	約70百万円	約10百万円
ユーロ	154.23円	約140百万円	約10百万円
人民元	19.73円	約40百万円	約20百万円

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

業界の動向 (日本電気制御機器工業会(NECA)出荷データ推移)

20年10月～23年12月の業界出荷額推移と対前年比の状況



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

製品別売上区分

HMI	インダストリアル コンポーネンツ	オートメーション＆ センシング	安全・防爆	システム	その他
・制御用操作スイッチ ・ジョイスティック ・表示灯 ・プログラマブル表示器	・スイッチング電源 ・端子台 ・制御用リレー/ソケット ・サーキットプロテクタ ・産業用LED照明	・プログラマブルコントローラ ・センサ ・自動認識機器	・安全関連機器 ・防爆関連機器	・協働ロボットシステム ・表示器複合システム ・セキュリティシステム ・その他各種システム	・環境・エネルギー関連事業

APEM製品

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。
従って、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社
経営戦略企画本部
TEL ：06-6398-2505
FAX ：06-6398-2587
E-mail : yasuyuki.ogawa@idec.com